

大学コンソーシアムひょうご神戸
2024年度 第5回 国際交流委員会
議事次第

日 時:2025年3月19日(水)メール審議

委 員 校:兵庫県立大学(委員長校)、神戸市外国語大学(副委員長校)

明石工業高等専門学校、芦屋大学、大手前大学、大手前短期大学、関西国際大学、関西福祉大学、
関西学院大学、関西学院短期大学、芸術文化観光専門職大学、甲南大学、甲南女子大学、
神戸海星女子学院大学、神戸大学、神戸学院大学、神戸国際大学、神戸市看護大学、
神戸松蔭女子学院大学、神戸女学院大学、神戸親和大学、神戸常盤大学、
園田学園女子大学、園田学園女子大学短期大学部、兵庫大学、兵庫大学短期大学部、流通科学大学

(計27校)

I. 審議事項

1. 「2024年度 国際交流委員会事業報告・決算(案)」について (資料1)

II. 連絡・調整事項

1. 災害時の外国人コミュニケーションツール (資料2)

『「BOSAI コミュニケーションカード(仮)」の開発とフェーズフリーな活用』について
チラシ(案)をご確認ください。4月上旬に募集開始予定。

2. 神戸常盤大学 学生海外派遣プログラムについて

4月5日(土)10:40~募集説明会を開催します。添付チラシにて、学生へご周知ください。

・カナダ看護研修コース 8月9日(土)~8月20日(水)

・医療検査ネパールコース 9月中旬 10日間(予定)

3. SIIEJ(国際教育夏季研究大会)2025について(ご案内)

8月6日(水)、7日(木) 京都先端科学大学太秦キャンパスにて開催

詳細は、<https://siiej.org> をご参照ください。

4. 2025年度の国際交流委員会開催予定と主な議題について

2025年度 第1回 国際交流委員会

<開催日時> 4月30日(水)10:00~11:00

<場 所> 兵庫国際交流会館 1階 ナダコムステーション

以上

<資料一覧>

2024年度 第5回国際交流委員会 次第

資料1-1:2024年度国際交流委員会 事業報告(案)

資料1-2:2024年度国際交流委員会 事業決算(案)

資料2:『「BOSAI コミュニケーションカード(仮)」の開発とフェーズフリーな活用』チラシ案

参考資料1 2025年度事業計画・予算(案)及び2024年度事業報告・決算(案)の作成について(依頼)

参考資料2 2024年度第4回国際交流委員会議事録

委員長校	兵庫県立大学
副委員長校	神戸市外国語大学
委員校 (全:27校)	明石工業高等専門学校、芦屋大学、大手前大学、大手前短期大学、関西国際大学、関西福祉大学、関西学院大学、関西学院短期大学、芸術文化観光専門職大学、甲南大学、甲南女子大学、神戸海星女子学院大学、神戸大学、神戸学院大学、神戸国際大学、神戸市看護大学、神戸松蔭女子学院大学、神戸女学院大学、神戸親和大学、神戸常盤大学、園田学園女子大学、園田学園女子大学短期大学部、兵庫大学、兵庫大学短期大学部、流通科学大学

中長期計画Ⅱ期の取組課題/達成目標/活動指標	
課題	課題⑤外国人留学生と日本人学生等の交流促進
取組1	兵庫国際交流会館における国際交流拠点推進事業
達成目標	①本プログラムへの参加を通じて国際理解が深まったことを実感する学生の割合:参加学生の80%以上(期間中2回測定) ②参加者数 2500名以上/5年
活動指標	参加者数 500名以上/年
取組2	加盟校の国際交流プログラムとの連携促進事業 ①学生海外派遣プログラム ②事業年度内で加盟校で企画・実施し、加盟校に開放された国際交流プログラム
達成目標	①本プログラムへの参加を通じて国際理解が深まったことを実感する学生の割合:参加学生の80%以上(期間中2回測定) ②プログラム数 10件以上/5年
活動指標	プログラム数 2件/年

目的
「国際都市神戸」を有する兵庫県の大学・短期大学・短期大学部・高等専門学校が加盟するコンソーシアムとして、グローバル人材育成を目指した事業を展開する。

課題⑤外国人留学生と日本人学生等の交流促進			
予算額	【取組1】	兵庫国際交流会館における国際交流拠点推進事業	9,625,000円 (受託事業収入)
	【取組2】	加盟校の国際交流プログラムとの連携促進事業 ①学生海外派遣プログラム ②事業年度内で加盟校で企画・実施し、加盟校に開放された国際交流プログラム	50,000円

期待される効果
<p>1. 兵庫国際交流会館における国際交流拠点推進事業 学生が主体的に学ぶことによる行動の変容、大学連携・産官学連携による留学生支援の新たな課題とニーズへの取組促進、高度外国人材としての留学生の理解促進等の効果が期待される。</p> <p>2. 加盟校の国際交流プログラムとの連携促進事業 各加盟校の強み・特徴を活かした国際交流プログラムを加盟校に開放することで、自学では得ることができない学びの経験とネットワークの構築の機会を学生に提供でき、加盟校の学生の学びが深まり、人脈が広がること期待される。 また、加盟校が抱える国際交流の課題を加盟校間で共有し、解決に向けたプログラムを実施することで、加盟校全体の国際交流の課題解消、多文化共生社会で活躍する学生の育成に繋がる効果が期待される。</p>

【2024年度 国際交流委員会 事業報告(⑤取組1)】(案)

課題⑤	課題⑤外国人留学生と日本人学生等の交流促進
達成目標	①本プログラムへの参加を通じて国際理解が深まったことを実感する学生の割合:参加学生の80%以上(期間中2回測定) ②参加者数 2500名以上/5年
課題を解決する取組概要	兵庫国際交流会館における国際交流拠点推進事業。 本事業を通して、兵庫国際交流会館が多文化共生社会の実現に向けた取組を行う地域の拠点として認知されることを目指す。
活動指標	参加者数 500名以上/年

計画(4月記載)	自己評価(12月記載)	報告(3月記載)
<p>【趣旨】兵庫国際交流会館において「大学連携・産官学連携による人材育成」と「外国人留学生の受け入れから日本定着までの幅広い支援」によって、多様な人々が安全・安心に暮らし、互いに個人の尊厳と人権を尊重しながら、能力を最大限に発揮できる多文化共生社会の実現を推進すること。</p> <p>1. 国際的視野を持ち、国際社会で活躍できる人材の育成 ・多国籍企画チーム「Team gnavi」の活動を実施する。 ・ファシリテーション、SNS等の研修 各講座10~15名程度</p> <p>2. 高度外国人材としての外国人留学生の日本定着に向けた取組 (1)生活の支援 ア:防災教育の実施 【年1回以上、30名~100名】 イ:大阪出入国在留管理局神戸支局による在留資格の相談会の開催 ウ:生活相談や医療相談機関の案内 (2)外国人留学生を活用した国際理解教育事業 ア:地域連携プログラム「英語村」 【年3回以上、各20人~50人】 イ:大学との連携による共同事業 【年1回4コマ程度実施、各20名~70名】 ウ:兵庫国際交流会館との連携による交流研究発表会の参加勧奨 ・神戸まつりやHIH祭(仮)の実施 【各年1回、各20~100名】 (3)外国人留学生のキャリアサポート事業 日本企業と交流する機会や日本特有の就職活動、企業文化、ビジネスマナーを知る機会を提供する。 【5回以上開催、各30名~100名】</p> <p>3. 多文化共生社会の実現を推進する事業 「Nada Global village(NGV)」の実施 【年8回以上開催、各20名~300名程度】</p> <p>4. 情報発信事業と支援者間ネットワーク体制の強化 【毎年6回以上開催】</p>	<p>【計画に対する実施結果】</p> <p>1. 国際的に活躍できる人材の育成 ・多国籍企画チーム「Team gnavi」のチームミーティング、各イベントの企画・運営・広報・進行等 計11回実施、131名(延べ) ・ファシリテーション講座「リーダーシップ能力を育てる!国際学生会議!」計4回実施(6/6,6/20,6/27,7/4),113名(延べ)</p> <p>2. 日本定着に向けた取組 (1)生活の支援 ア:キャンプ~防災を学ぶSurvival 編~(9/10,11) 32名 イ:大阪出入国在留管理局神戸支局による在留資格の相談会の開催 毎月第2水曜日開催 計6回開催 ウ:医療法人星晶会 医療相談について周知 KICCC頒布会について周知 (2)外国人留学生を活用した国際理解教育事業 ア:インターナショナルフェスティバル(7/9) 74名 英語村イン姫路(8/8) 32名 兵庫高校研究発表、神戸高校とシアトルアカデミーとの交流会・シアトル市長訪問(4/8,4/23,7/9) 119名 イ:甲南女子大学GCPプログラム(9/19,10/8) 82名 明石高専 UIA茶室展示・茶道講演・体験会(10/26)118名 ウ:交流研究発表会の参加勧奨(10/25) 47名 神戸まつり(4/21) 115名、HIH祭(10/26) 118名 (3)外国人留学生のキャリアサポート事業 Let's GO-SETSU 日本語講座(6/19) 35名 Let's GO-SETSU 合同企業説明会体験(6/19) 35名 留学生と一緒に学ぶ日本語講座(7/27) 17名 キャンプ~日本で働くLive a life編~(9/10,11) 32名 留学生と企業と交流会(10/11) 69名 3. 多文化共生社会の実現を推進する事業 NGV76国際交流ハイキング(4/14) 26名 NGV77イード・アル=フィットを祝おう!(5/26) 24名 NGV78コミュニケーション学院留学生と遊ぼう!(5/22) 27名 NGV79留学生と一緒に学ぶ三味線(7/27) 36名 NGV80Club Geordie Innovative sports day(8/9) 40名 NGV81国際協力入門セミナー(9/27,10/26) 163名 NGV84国際協力・国際交流機関インターンシップリレー(8/22~6日間)26名</p> <p>4. 情報発信事業と支援者間ネットワーク体制の強化 ・国際交流委員会(4/22) 18名 ・オーストラリアクイーンズランド州政府、アメリカ領事館との交流会(4/22) 20名 ・EMIワークショップ(5/23) 10名</p> <p>【自己評価】 留学生と日本人学生との交流に重点を置き、日本人学生の積極的な関わりを促した。留学生対象の企画にも、日本人学生の学びに繋がることや日本人学生だからこそ果たせる役割に焦点をあて、より意義のある交流を意図した企画を実施した。留学生視点での、文化体験や交流体験、語学の習得といった入口から就職・定着へと、次のステップに進めるよう、企画を工夫した。その結果、単なる交流イベントでは聞き出せない留学生の本音や将来に向けた希望・不安等を把握し、就職相談や企業、地域活動へと繋ぐことができた。留学生の個性や適性は、一度の関わりでは理解し難いため、継続的に関わっていく仕掛けを作り成果を出すことができた。</p>	<p>【計画に対する実施結果】</p> <p>1. 国際的に活躍できる人材の育成 ・多国籍企画チーム「Team gnavi」のチームミーティング、各イベントの企画・運営・広報・進行等 計11回実施、131名(延べ) ・ファシリテーション講座「リーダーシップ能力を育てる!国際学生会議!」計4回実施(6/6,6/20,6/27,7/4),113名(延べ) SNS発信力UP講座(2/12) 45名</p> <p>2. 日本定着に向けた取組 (1)生活の支援 ア:キャンプ~防災を学ぶSurvival 編~(9/10,11) 32名 世界看護学会(11/29) 67名 イ:大阪出入国在留管理局神戸支局による在留資格の相談会の開催 毎月第2水曜日開催 計7回開催 ウ:医療法人星晶会 医療相談について周知 KICCC頒布会について周知 (2)外国人留学生を活用した国際理解教育事業 ア:インターナショナルフェスティバル(7/9) 74名 英語村イン姫路(8/8) 32名 兵庫高校研究発表(7/9)20名 神戸高校とシアトルアカデミーとの交流会・シアトル市長訪問(4/8,4/23) 99名 英語村イン蒼合高校(11/21) 367名 留学生といただきます!グローバル食堂(11/28) 65名 神戸高校・兵庫高校・親和女子高校 3校合同研究発表会(3/6) 161名 イ:甲南女子大学GCPプログラム(9/19,10/8,11/27) 144名 明石高専 UIA茶室展示・茶道講演・体験会(10/26)118名 ウ:交流研究発表会の参加勧奨(10/19) 47名 神戸まつり(4/21) 115名、HIH祭(10/26) 118名 (3)外国人留学生のキャリアサポート事業 Let's GO-SETSU 日本語講座(6/19) 35名 Let's GO-SETSU 合同企業説明会体験(6/19) 35名 留学生と一緒に学ぶ日本語講座(7/27) 17名 キャンプ~日本で働くLive a life編~(9/10,11) 32名 留学生と企業と交流会(10/11) 69名 TOA株式会社バスツアー(3/19) 21名</p> <p>3. 多文化共生社会の実現を推進する事業 NGV76国際交流ハイキング(4/14) 26名 NGV77イード・アル=フィットを祝おう!(5/26) 24名 NGV78コミュニケーション学院留学生と遊ぼう!(5/22) 27名 NGV79留学生と一緒に学ぶ三味線(7/27) 36名 NGV80Club Geordie Innovative sports day(8/9) 40名 NGV81国際協力入門セミナー(9/27,10/26) 163名 NGV83Club Geordie 日本の文化を遊びで体験!(11/23) 18名 NGV84国際協力・国際交流機関インターンシップリレー(8/22~6日間)26名 NGV85クリスマスWith緑茶(12/22) 19名 NGV86国際協力業界で働くINひょうご神戸(2/7) 62名 NGV87日本&香港文化体験!(2/22) 18名</p> <p>4. 情報発信事業と支援者間ネットワーク体制の強化 ・国際交流委員会(4/22) 18名 ・オーストラリアクイーンズランド州政府、アメリカ領事館との交流会(4/22) 20名 ・EMIワークショップ(5/23) 10名 ・国際交流委員会(2/14) 16名 ・国際交流委員会と賛助会員企業の情報交換会(2/14)21名 ・神大Gnavi事例報告・情報交換会(2/25) 29名</p> <p>【報告】 地域の一般の方々、また中高生と、留学生との交流を促進した。加盟校の日本人学生と複数の企画への参加を通して親交を深める留学生も増えたほか、地域の一般の方、こども食堂利用者、また神戸市内に通う高校生とも多くの接点を持つことができた。どのイベントでも「ぜひ次回も」との要望を受け、次につながる実績を残した。コンソでのインターンシップを行った留学生からは文化交流の企画提案があり、留学生による留学生のためのイベントが実現した。 県内企業に協力頂き実施したバスツアーではじっくりと日本企業について学んだほか親睦も深めることができ、定着へのステップを進めることができた。</p>
達成目標に対する実績	①94.2% ②5569名(累計)	①94.2% ②6,540名(累計)
活動指標に対する実績	1559名	2530名
自己評価基準:対到達目標 ※	4	—
自己評価基準:対継続性 ※	4	—

事業収支				
収入	支出	収支	支出	収支
9,625,000円	5,590,381円(10月末時点)	4,034,619円(10月末時点)	9,625,000円	0円
理事会からの改善提案(次年度事業計画に反映)				

兵庫国際交流会館を拠点に、日本文化、就活、防災、ファシリテーションなどで、留学生を積極的に活動に取り込んでいることについては評価できる。留学生からのヒアリングを丁寧継続するとともに、日本人学生との関わりもさらに補強してプログラム内容に盛り込むことを期待したい。また学生・留学生主体の企画にも引き続き重点をおき、さらなる内容と質が充実するよう、コーディネートを工夫することに期待する。留学生の日本定着を目指すにあたり日本人学生が果たす役割は大きい。英語が苦手な日本人学生にとっても留学生との交流は有益であるため、より裾野の広いプログラム展開を期待したい。

※ 自己評価基準:対到達目標	4:当初計画を上回って達成 3:当初計画を達成 2:当初計画をやや下回った 1:当初計画を下回った	※ 自己評価基準:対継続性	4:本プログラムは継続すべき 3:本プログラムは継続しても良い 2:本プログラムの継続には改善が必要 1:本プログラムは中止すべき
-------------------	--	------------------	--

【2024年度 国際交流委員会 事業報告(⑤取組2)】(案)

課題⑤	課題⑤外国人留学生と日本人学生等の交流促進	
達成目標	①本プログラムへの参加を通じて国際理解が深まったことを実感する学生の割合:参加学生の80%以上(期間中2回測定) ②プログラム数 10件以上/5年	
課題を解決する取組概要	加盟校の国際交流プログラムとの連携促進事業 ①学生海外派遣プログラム(神戸常盤大学) ②事業年度内で加盟校で企画・実施し、加盟校に開放された国際交流プログラム	
活動指標	プログラム数 2件/年	
計画(4月記載)	自己評価(12月記載)	報告(3月記載)
<p>①学生海外派遣プログラム 神戸常盤大学 【アメリカ・ネパール 医療検査コース】 先端医療技術を用いて高度な医療を提供しているにもかかわらず、高額医療費故に十分な医療を受けられない人もいるアメリカ。日本と比較して医療施設や保健施設が整っていないネパール。 文化的、社会的に全く異なる国を訪問し自らの目で見て体で感じ、帰国後報告会とディスカッションを通して、医療に対する国際感覚を高めることができるプログラム。</p> <p>【実施期間】 アメリカコース:2024年9月13日(金)~9月23日(月)の予定 ネパールコース:2024年9月2日(月)~9月11日(水)の予定 【参加費用】 アメリカコース 35-45万円程度 ネパールコース 25-35万円程度 ※為替レートによって変動する場合あり</p> <p>【オーストラリア 看護コース】 世界でも有数の医療福祉先進国と言われているオーストラリアで、医療福祉施設の視察や現地で働く看護師さん達との交流、看護大学での学習体験など、自らの目で見て体で感じる体験型プログラム。</p> <p>【実施期間】 2024年9月9日(月)~9月17日(火)の予定 【参加費用】 35-45万円程度(航空運賃、宿泊費、研修費、食事代、現地での交通費等含む) ※為替レートによって変動する場合あり</p> <p>②各加盟校の強み・特徴を活かした国際交流プログラムの加盟校への開放で、以下の効果が期待されるプログラム</p> <p>○自学では得ることができない学びの経験とネットワークの構築の機会を学生に提供でき、加盟校の学生の学びが深まり、幅が広がることを期待されるプログラム</p> <p>○加盟校が抱える国際交流の課題を加盟校間で共有し、解決に向けたプログラムを実施することで、加盟校全体の国際交流の課題解消、多文化共生社会で活躍する学生の育成に繋がる効果が期待されるプログラム</p>	<p>【計画に対する実施結果】 ①学生海外派遣プログラム(神戸常盤大学) ネパール(9/2-9/11) アメリカ(9/13~9/23) オーストラリア(9/9-9/17)</p> <p>②各加盟校の強み・特徴を活かした国際交流プログラムの加盟校への開放</p> <ul style="list-style-type: none"> ・神戸まつり(4/21 兵庫大学) ・EMI Workshop by Claire Lee (5/23 明石工業高等専門学校) ・留学生と一緒に学ぶ日本語講座&三味線コンサート(7/27 甲南女子大学) ・裏千家インターナショナルアソシエーション 茶室展示・茶道体験・講演会(10/26 明石工業高等専門学校) ・兵庫県立大学トークイベント モンゴルに住んでみた(11/13 兵庫県立大学) <p>【自己評価】 今まで連携の少なかった委員校とも連携プログラムを実施した。ひとつの企画を通じて関係性を深め、次の企画につながるという実績になった。今後も続けていきたい。</p>	<p>【計画に対する実施結果】 ①学生海外派遣プログラム(神戸常盤大学) ネパール(9/2-9/11) アメリカ(9/13~9/23) オーストラリア(9/9-9/17)</p> <p>②各加盟校の強み・特徴を活かした国際交流プログラムの加盟校への開放</p> <ul style="list-style-type: none"> ・神戸まつり(4/21 兵庫大学) ・EMI Workshop by Claire Lee (5/23 明石工業高等専門学校) ・留学生と一緒に学ぶ日本語講座&三味線コンサート(7/27 甲南女子大学) ・裏千家インターナショナルアソシエーション 茶室展示・茶道体験・講演会(10/26 明石工業高等専門学校) ・兵庫県立大学トークイベント モンゴルに住んでみた(11/13 兵庫県立大学) ・SNS発信力UP講座(2/12,13 兵庫大学) <p>【報告】 これまでの加盟校との連携に加え、新たな連携を少しずつ増やすことができた。またこの連携を活かして取組1の企画と一緒に進めるなど、さらに強い連携を目指して動き始めることができた。</p>
達成目標に対する実績	①98.6% ②11件(累計)	①98.6% ②12件(累計)
活動指標に対する実績	6件	7件
自己評価基準:対到達目標 ※	4	—
自己評価基準:対継続性 ※	4	—

事業収支				
収入	支出	収支	支出	収支
50,000円	17,445円(10月末時点)	32,555円(10月末時点)	42,383円	7,617円
理事会からの改善提案(次年度事業計画に反映)				
<p>連携プログラム数の増加や新たな連携校(明石工業高等専門学校など)が増えているのは評価できる。今後もさらなる連携校を増やすべく、各大学の意見聴取を強化し、他大学の事情にあった連携プログラムを創出し、参加者の多様性の拡大を期待したい。</p>				

※	4:当初計画を上回って達成 3:当初計画を達成 2:当初計画をやや下回った 1:当初計画を下回った	※	4:本プログラムは継続すべき 3:本プログラムは継続しても良い 2:本プログラムの継続には改善が必要 1:本プログラムは中止すべき
自己評価基準:対到達目標		自己評価基準:対継続性	

【2024年度 国際交流委員会 事業決算】(案)

(単位:円)

		予算	決算	各プログラム 予算						委員会 予算		
				【取組1】			【取組2】					
				兵庫国際交流会館における 国際交流拠点推進事業 (JASSO受託事業)			加盟校の国際交流プログラムとの 連携促進事業					
				内訳	予算額	決算額	内訳	予算額	決算額	内訳	予算額	決算額
収入	会費収入	150,000	150,000					50,000	50,000		100,000	100,000
	助成事業収入											
	受託事業収入	9,625,000	9,625,000	JASSO受託事業収入	9,625,000	9,625,000						
	プログラム収入											
	雑収入											
	戻入金											
	計	9,775,000	9,775,000		9,625,000	9,625,000		50,000	50,000		100,000	100,000
支出	会議費	100,000	151,225	会議費	80,000	146,833				会議費	20,000	4,392
	旅費交通費	140,000	71,940	旅費	100,000	71,940	旅費交通費	20,000	0	旅費交通費	30,000	0
	通信運搬費	70,000	253,220	郵便、通信費	50,000	208,830				通信運搬費	20,000	44,390
	消耗品費	50,000	260,472	消耗品費	50,000	256,094	コピー用紙代等	0	4,378			
	新聞図書費	10,000		新聞図書費	10,000	0						
	印刷製本費	30,000	21,402	印刷製本費	0	1,112	印刷製本費	30,000	20,290			
	光熱水料費											
	賃借料	40,000	133,375	賃借料	40,000	128,150	賃借料	0	5,225			
	保険料											
	謝金	1,191,000	903,547	諸謝金	1,161,000	903,547				諸謝金	20,000	0
	租税公課											
	支払手数料	22,000	24,635	振込手数料	22,000	24,145	振込手数料	0	490			
	諸会費											
	委託費	852,000	234,194	HP制作費・業務委託	852,000	234,194						
	人件費	7,260,000	7,639,515	コーディネーター	7,260,000	7,639,515						
	接待交際費											
	支払支援金											
	雑費	10,000	22,640	入館料	0	10,640	国際教育夏季研究大会会費	0	12,000	雑費	10,000	0
計	9,775,000	9,716,165		9,625,000	9,625,000		50,000	42,383		100,000	48,782	

収入-支出	58,835
-------	--------

参加学生
募集！

災害時の外国人コミュニケーションツール

「BOSAIコミュニケーションカード (仮)」の
開発とフェーズフリーな活用にむけたプロジェクト

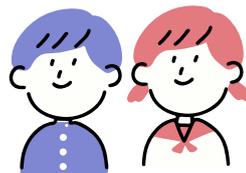
日本人学生も留学生も一緒に取り組もう！

近年、日本国内で多発している地震や水害などの自然災害。

2025年1月15日には、南海トラフ巨大地震の30年以内の発生確率が80%程度に引き上げられ、いつ起きてもおかしくない状況です。

災害時に、避難情報などを理解できないおそれがある外国人に対する備えとして「防災教育」と「コミュニケーションツール」の開発に参加してみませんか？

阪神・淡路大震災から30年を迎えた兵庫県での当活動では、単にツールを作るだけでなく、フェーズフリーな活用を促し、災害時も外国人が「安心」して情報を得て、適切に行動できる地域づくり・多文化共生社会の実現を目指します。

**1** 地域と顔を合わせる環境で外国人が防災知識を習得する機会を設けると同時に、災害時のコミュニケーションツール「BOSAIコミュニケーションカード (仮)」を開発する。

※Wi-Fi環境がない場所では、スマートフォンにダウンロードされた翻訳アプリは使えません。災害時のお守りとして普及できるものを作ります。

2 「BOSAIコミュニケーションカード (仮)」を活用した災害図上訓練を検討する。

※日頃の訓練で使い慣れておくことで、災害時にスムーズに活用することができるように目指します。(フェーズフリーな備え)



活動期間 2025年6月7日(土)～2027年3月末まで

- ①スケジュールの詳細は裏面をご覧ください。
- ②全プログラムへの参加が望ましいですが、事情により難しい場合はご相談ください。
- ③2カ年事業ですが、4年次生の学生の参加も受け付けます。

応募条件 兵庫県内の大学に所属する学生・留学生

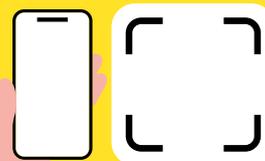
応募締切 2025年5月16日(金)まで

募集人数 20名程度

申込方法 右記 2次元コードからお申込み下さい

参加費
無料

SCAN ME!

主催 大学コンソーシアムひょうご神戸
神戸学院大学

今、参加を迷っているあなた！
参加しなければ気づけないことがあります。
学生生活で今しかできない経験するチャンスです！
ぜひご応募ください。



2025年度 スケジュール

災害時の外国人コミュニケーションツール

「BOSAIコミュニケーションカード (仮)」の
開発とフェーズフリーな活用にむけたプロジェクト

キックオフ オンライン MTG	【日時】 2025年6月7日(土) 14:00～15:00 【場所】 オンラインZoom 【テーマ】 顔合わせ・プロジェクトの概要説明
第1回 WS	【日時】 2025年7月6日(日) 9:30～12:30 【場所】 兵庫国際交流会館1階 ナダコムステーション 【テーマ】 南海トラフ巨大地震について学ぶ
第2回 WS	【日時】 2025年9月13日(土) 9:30～12:30 【場所】 兵庫国際交流会館1階 ナダコムステーション 【テーマ】 命を守るコミュニケーション・言葉を考える
プロトタイプ お試し会	【日時】 2025年9月20日(土) 10:00～13:00 ※別の機会も検討中です 【場所】 HAT神戸 【テーマ】 地域の防災訓練や防災イベントで体験してもらおう
第3回 WS	【日時】 2026年2月15日(日) 9:30～12:30 ※終日になる可能性あり 【場所】 兵庫国際交流会館1階 ナダコムステーション 【テーマ】 改良版を作成しよう



※スケジュールは、連携先との調整により変更になることがあります。

※2026年度については、改良版お試し会、完成品お披露目会、図上訓練の実施など、年4回開催を予定しています。

Q&A



Q1.防災の知識がなくても参加できますか？

A1.ぜひ参加してください！プロジェクトの活動を通して、一緒に防災を学びましょう。

Q2.授業、就活、部活、バイト等と両立できるか不安です…

A2.大丈夫です。ミーティングに参加できないときは、チームや学生全体で情報共有するなどお互いに助け合いながら活動しましょう！

Q3.語学が得意ではないので不安です…

A3.言語が異なる人のコミュニケーションを取りやすくするためのプロジェクトです。多言語対応は、みんなで力を合わせて取り組むので安心して参加してください。

わからないこと、相談したいことがあれば、お気軽にご連絡ください！



2025 年 1 月吉日

一般社団法人大学コンソーシアムひょうご神戸
事業委員会 委員長 各位

一般社団法人大学コンソーシアムひょうご神戸
理事長 中村 恵

2025 年度事業計画・予算（案）及び 2024 年度事業報告・決算（案）の作成について（依頼）

拝啓 寒冷の候、ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。平素は当コンソーシアムの活動に深いご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、標記の件につきまして、下記のとおりご提出いただきますよう、よろしくお願いたします。

なお、2025 年度事業計画の作成にあたっては、2024 年度の各事業委員会の自己評価をもとに企画運営委員会及び理事会にて作成した改善提案の内容を踏まえてご検討いただきますようお願いいたします。ご不明な点がございましたら、事務局までお問い合わせください。

敬具

記

1. 2025 年度事業計画・予算（案）及び 2024 年度事業報告・決算（案）の作成・提出
 - (1) 2025 年度事業計画・予算【鑑】（案）
提出期限：2025 年 2 月 14 日（金）正午
 - (2) 2025 年度事業計画・予算【詳細】（案）
提出期限：2025 年 5 月 8 日（木）正午
※第 6 回理事会(1/29)において来年度の各委員会事業に対する予算が承認されました。
委員会事業予算（総額）：600 万
 - (3) 2024 年度事業報告・決算（案）
提出期限：2025 年 3 月 27 日（木）正午
2. 今後のスケジュール
 - (1) 「2025 年度事業計画・予算（案）」
2025 年 3 月 17 日 第 7 回理事会にて審議・決定
2025 年 6 月（予定） 定時総会にて報告
 - (2) 「2024 年度事業報告・決算（案）」
2025 年 4 月（予定） 2025 年度第 1 回理事会にて審議、定時総会に上程
2025 年 6 月（予定） 定時総会にて審議・決定

（添付書類）

- ・添付 1) 2024 年度 各事業委員会活動の自己評価に対する改善提案
- ・添付 2) 2025 年度 【記入用】事業計画・予算（案）
- ・添付 3) 2024 年度 【記入用】事業報告・決算（案）

以上

大学コンソーシアムひょうご神戸
2024年度 第4回 国際交流委員会
議事録

日 時：2025年2月14日(金) 15:00～16:00 開催

開催場所：兵庫国際交流会館 1F Nadacom Station

委員校：兵庫県立大学(委員長校)、神戸市外国語大学(副委員長校)

明石工業高等専門学校、芦屋大学、大手前大学、大手前短期大学、関西国際大学、関西福祉大学、
関西学院大学、関西学院短期大学、芸術文化観光専門職大学、甲南大学、甲南女子大学、
神戸海星女子学院大学、神戸大学、神戸学院大学、神戸国際大学、神戸市看護大学、
神戸松蔭女子学院大学、神戸女学院大学、神戸親和大学、神戸常盤大学、
園田学園女子大学、園田学園女子大学短期大学部、兵庫大学、兵庫大学短期大学部、流通科学大学
(計 27 校)

欠席校：大手前大学、大手前短期大学、関西福祉大学、甲南女子大学、神戸海星女子学院大学、神戸市看護
大学、神戸松蔭女子学院大学、神戸親和大学、兵庫大学、兵庫大学短期大学部、芸術文化観光専門職
大学、流通科学大学
(計 12 校)

I. 審議事項

1. 2025年度国際交流委員会 事業計画・予算(案)について (資料1)

1) 【取組1】兵庫国際交流会館における国際交流拠点推進事業

災害時の外国人コミュニケーションツール「BOSAI コミュニケーションカード(仮)」の開発とフェーズ
フリーな活用の提案について

2) 【取組2】加盟校の国際交流プログラムとの連携促進事業

①学生海外派遣プログラム

②事業年度内に加盟校で企画・実施し、加盟校に開放された国際交流プログラム

II. 懇談事項

1. 第22回全国大学コンソーシアム研究交流フォーラム(2025年兵庫県開催)学生ステージについて (資料2)

III. 連絡・調整事項

1. 2024年度の国際交流委員会開催予定と主な議題について

第5回委員会 3月:2024年度 事業報告・決算(案)

以上

<資料一覧>

資料1-1:【理事長名依頼状】2025年度事業計画・予算(案)及び2024年度事業報告・決算(案)の作成依頼

資料1-2①: 2025年度国際交流委員会 事業計画・予算(案)について 取組1

資料1-2②: 2025年度国際交流委員会 事業計画・予算(案)について 取組2

資料1-2③: 「BOSAI コミュニケーションカード(仮)」の開発 企画概要

資料1-3①: 2025年度国際交流委員会 事業計画(案)

資料1-3②: 2024年度学生派遣プログラム実施報告_神戸常盤大学

資料1-4: 2025年度国際交流委員会 事業計画・予算(案)

資料2: 第22回全国大学コンソーシアム研究交流フォーラム(2025年兵庫県開催)について

(参考資料1) 2024年度 各事業委員会活動の自己評価に対する改善提案

I. 審議事項

1. 2025 年度国際交流委員会 事業計画・予算(案)について

(資料 1)

1) 【取組 1】 兵庫国際交流会館における国際交流拠点推進事業

慈事務局員より資料 1-2①に基づいて【取組 1】「兵庫国際交流会館における国際交流拠点事業」について説明があり、原案どおり承認された。

なお、神戸学院大学 足利様より資料 1-2③に基づいて、2025 年度事業のご提案および事業内容説明があった。これに対し、以下のご質問・ご意見があった。

<主な意見>

- ・神戸市外国語大学 国際交流センター長 金子副委員長：

紙媒体を想定した「防災カード」であれば、学生の携帯は難しい。災害時のリスクマネジメントとして留学生とのネットワークはあるのか。各校単位だと少数派の国籍の留学生等の対応が難しい。コンソ加盟校間で協力し、もれなく留学生に情報が伝わるような配慮が必要。

本事業を進める過程で、留学生だけでなく、留学生を取り巻くコミュニティの協力が不可欠である。周囲の日本人学生や企業等にも同時に浸透させることが重要ではないか。

- ・神戸女学院大学 高地国際交流センター課長

前出の意見と同様、カードの携帯よりスマホのアプリなどのほうが現実的ではないか。予算では、イベントや講演会の費用がメイン思われる。開発費の類の予算が必要ではないか？制作過程の使用言語により、留学生の理解度、周知に差が出ないか。

各校で特定の企業や自治体の提供する危機管理サービスを導入している中、取ってカードを携帯することの違い、メリットはなにか。防災に取り組む他機関との連携が多く存在する中で、本事業はそれを集約するものなのか。本事業は大変有益で期待が大きい。関連するイベントの情報周知や成果報告、成果物の共有などは加盟校間で是非活発に行いたい。カードが加盟校に配布されると良い。

- ・明石工業高等専門学校 水野グローバルエデュケーションセンター長

前出の意見と同様、カードの携帯よりスマホのアプリなどのほうが現実的ではないか。全国の先行事例を調査し、参考にして欲しい。事業年度を超えても継続できるよう、早い段階から企業を巻き込んで進めたほうが良い。

<主な意見に対する回答>

- ・神戸学院大学 足利国際交流支援グループ長

「開発費」は、今後のワークショップを経て方向性を定めていく。講師の説明言語は、日本語と思われる。留学生への伝達は今後検討する。物理的なカードを携帯する利点は、災害時の通信の断絶や水没による機器の破損などに対し、カードならどんな状況でも使えるという利点や避難中・避難所内のパニック状況の中で使いやすいから。

- ・大学コンソーシアムひょうご神戸 山崎事務局長

言語の問題は、これまでの JASSO 受託事業同様、日本人学生や留学生の力も借りながら進めていく。その他の機関との連携には JICA、HIA との協定や県との連携がある。様々な機関で同様の取組がある中で、連携機関で協力してこの事業を進めていく。本事業が各所での取組を集約するものではないが、既存の連携機関、自治体や経済団体の意見も入れながら進めたい。

2) 【取組 2】 加盟校の国際交流プログラムとの連携促進事業

① 学生海外派遣プログラム

慈事務局員より資料 1-2①に基づいて、学生海外派遣プログラムについて説明があった。

神戸常盤大学 学生支援課 課長補佐 青木様より資料 1-3②に基づいて、学生海外派遣プログラムについて説明があった。

② 事業年度内に加盟校で企画・実施し、加盟校に開放された国際交流プログラム

慈事務局員より資料 1-3①、1-2①に基づいて、事業年度内で加盟校で企画・実施し、加盟校に開放された国際交

流プログラムについて説明があった。

鈴木次長より資料 1-4 に基づき取組 1、2 の予算案が提示された。

以上の説明をもって原案どおり承認された。

慈事務局員より 2024 年度の「加盟校の国際交流プログラムとの連携促進事業」について、現状説明があった。

加盟校各位に対し 2025 年度のプログラム提供依頼があった。

II. 懇談事項

1. 第 22 回全国大学コンソーシアム研究交流フォーラム（2025 年兵庫県開催）学生ステージについて（資料 2）

山本事務局員より資料 2 に基づいて、概要の説明があった。

これに対し、以下の質問・意見があった

<主な意見>

神戸市外国語大学 国際交流センター長 金子副委員長

参加可能な留学生がいる場合は、所属大学に依頼がくるのか、出し物のコンセプト決定後に加盟校間で参加者を募るのか。学生ステージだけに国際交流委員会が関わっているのか、それともシンポジウム全体的に国際性がテーマなのか。

明石工業高等専門学校 水野グローバルエデュケーションセンター長

学生ステージ前後にある「シンポジウム」は出し物の内容と関係があるのか。どのような内容のものか。

国際性をうたっているコンソーシアムは少ないのか。

<主な意見に対する回答>

鈴木次長

大学単位か加盟校の学生混合グループでの参加かは未定。シンポジウムは、大学関係者の皆様に向けたもので、情報交換や事例紹介の場。コンソーシアムとは何か、を広く知って頂く場。

山崎事務局長

国際性をうたっているコンソーシアムは他にもあるが、ひょうごコンソに依頼が入った経緯として、留学生支援に特化した事業が一定の成果を出していることがある。国際性をシンポジウム全体のテーマとしているわけではない。

III. 連絡・調整事項

1. 2024 年度の国際交流委員会開催予定と主な議題について

事務局より第 5 回委員会開催予定と主な議題について、メール審議とする旨の案内があった。

以上をもって、第 4 回国際交流委員会の議事は終了した。

2025年度夏 大学コンソーシアムひょうご神戸学生派遣プログラム カナダ看護研修 in Vancouver



今しかできない経験を
世界を知る、広がる可能性

日程

2025年8月9日(土) - 8月20日(水)

対象

看護学生(全学年)

※単位互換制度を利用して単位認定を受けることができます。

参加者
募集

研修内容

- 1 語学 + 医療英語 (30年の歴史をもつSELC語学学校での集中レッスン)
- 2 看護教育プログラム受講 (SELC併設専門学校で現地の看護教育を体験)
- 3 総合病院やクリニック、高齢者福祉施設等の見学
- 4 現地で活躍する看護師や留学生との交流
- 5 異文化体験活動 (自然がいっぱい、おしゃれな街Vancouverを満喫)

宿泊

ホームステイ (安心できるホストファミリーのもとで現地での生活を体験できます)

費用

35-45万円程度 (航空運賃、ホームステイ費用(食事代込み)、研修費等含む)

※為替レートによって変動する場合があります。

※海外旅行保険料、現地での交通費等、別途個人負担があります。

募集人数

若干名

※本プログラムは神戸常盤大学の選択授業である『国際保健医療活動Ⅱ』を開放科目として提供しています。各国・各コースへ神戸常盤大学生の参加が履修規定者数未満の場合、該当コースのみ開催しないことがあります。

説明会

4月5日(土) 10:40~

申込方法

右記のQRコードより必要事項入力の上、お申し込みください。

申込締切日

2025年4月4日(金) 12:00まで

お問合せ先

神戸常盤大学国際交流センター
gcc@kobe-tokiwa.ac.jp



2024年度オーストラリア看護研修での風景

提供校：神戸常盤大学



令和7年度大学コンソーシアムひょうご神戸学生派遣プログラム

神戸常盤大学保健科学部看護学科：国際保健医療活動 II

カナダ看護研修コース

- 往路 8月9日(土)大阪発 — 8月9日(土)バンクーバー着
■復路 8月19日(火)バンクーバー発 — 8月20日(水)大阪着

8月9日(土)	日本発(大阪国際空港または関西国際空港) バンクーバー国際空港着 各ホームステイ先へ(送迎あり)
8月10日(日)	自由行動(各自交通機関の確認等)
8月11日(月)	午前：現地オリエンテーション、English Communication 午後：Medical English 研修施設：SELC Language College
8月12日(火)	午前：English Communication 午後：Medical English 研修施設：SELC Language College
8月13日(水)	午前：English Communication 午後：Medical English 研修施設：SELC Language College
8月14日(木)	全日：SELC Career Collegeの看護教育プログラム受講 研修施設：SELC Career College
8月15日(金)	午前：SELC Language College卒業式 午後：School Activities 研修施設：SELC Language College
8月16日(土)	全日：高齢者福祉施設の見学 研修施設：Rosewood By Nikoniko
8月17日(日)	異文化体験(希望者でビクトリア観光等)
8月18日(月)	午前：看護大学の見学 研修施設：The University of British Columbia (UBC) 午後：看護関連施設(総合病院やクリニック、薬局等)の見学 カナダの保健医療制度の講義 研修施設：Trans Med
8月19日(火)	バンクーバー国際空港発
8月20日(水)	日本着(関西国際空港または大阪国際空港)、入国手続き

※ 航空券により、国内または国外で乗り継ぎの可能性もあります。

※ 訪問予定施設の都合により、訪問先の変更や日程が変わることがあります。

★全行程、日本語でのサポートが受けられるので安心してご参加いただけます。

■ 主となる研修先

1. SELC Language College

所在地：Hudson House, 321 Water St #2f, Vancouver, BC V6B 1B8

2. SELC Career College

所在地：1155 W. Pender St, Vancouver, BC V6E 2P4

■ 宿泊

ホームステイ（朝食・夕食+簡単なランチ付き）

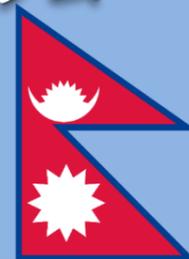
■ 参加費用：35-45万円

- ① 現時点での為替レートにおける概算になります。
- ② 航空運賃、ホームステイ費用(食費込)、研修費用等を含む。
- ③ 海外旅行保険料、現地での交通費等、別途個人負担があります。(※海外旅行保険の加入は必須となります)

2025年度夏 大学コンソーシアムひょうご神戸学生派遣プログラム

フィールドワーク型プログラムとは

日本と比較して医療施設や保健施設が整っていない「ネパール」。
自らの目で見て体で感じ、医療に対する国際感覚を高めることができるプログラムです。



今しかできない経験を
世界を知る、広がる可能性

2025年9月実施

医療検査ネパールコース

参加者
募集

医療系プログラムフィールドワーク型
学生海外派遣プログラム

日程 2025年9月中旬 10日間（予定）

研修内容

費用 25万円～30万円程度
（22万円：2024年実績）

Shiba-Kuti研究所にて講義受講、採水・水質検査試験、
抗生剤耐性菌の検出とゲノムDNA抽出、ナガルコット・
チャングナラヤン・カトマンズにて採水、水質検査試験、
ネパール医科大学病院見学、医療技術系学校での学生交
流など（2024年実施内容）

※為替レートによって変動する場合があります。
※海外旅行保険料、現地での交通費等、別途個人負担が
あります。

募集人数 若干名



説明会 4月5日(土) 10:40～

【申込方法】右記のQRコードより必要事項入力
の上、お申し込みください。

【申込締切日】4月4日(金) 12:00まで

【問合せ先】神戸常盤大学国際交流センター
gcc@kobe-tokiwa.ac.jp



注) 本プログラムは神戸常盤大学の選択
授業である、国際保健医療活動IIを開放
科目として提供しています。各国・各
コースへ神戸常盤大学生の参加が履修規
定者数未満の場合、該当コースのみ開催
しないことがあります。

提供校: 神戸常盤大学



K+ KOBE TOKIWA
KOBE TOKIWA UNIVERSITY